

【様式第 4 号】

令和 7 年度 第4回 保土ヶ谷区障害者自立支援協議会 ほとぼりの会 会議録	
日時	令和 7 年 7 月 15 日(火)15:30~17:00
開催場所	常盤台病院
出席者	田中(わおん)、加藤(リンク)、藤井(常盤台病院)、山本(区役所)、田村(基幹相談支援センター)、佐藤若・大方(生活支援センター)(敬称略)
欠席者	深澤(常盤台病院)、霜島、新井田(あかね工房)
開催形態	公開(傍聴人: 名)・ <u>非公開</u>
議題	1. 普及啓発について 〈アンケート〉 深澤氏より結果分類したものを共有→各自分析 ほとぼりの会にて意見集約、まとめ 〈次年度に行うこと〉 ・出張あかね工房と生活教室は継続。 次年度から共同で実施したいこととして、以下を病院にお返しする。 ① 支援者向けに福祉サービスの勉強会。案)退院先についての情報提供、意見交換会。成年後見など社会資源についての勉強会など。 ② 利用者向けに出張生活支援センター。生活支援センターのプログラム(メンバーミーティング)に参加してもらう。OT を巻き込みたい ③ アンケートにて意見が出ていた「地域でやってほしいこと」を次年度の生活教室のプログラムに反映。案)家族支援など 〈長期的に行いたいこと〉 ・病棟スタッフ向けに実際の在宅生活場面を知ってもらう機会があるとよい。 →GH の見学、訪問看護の同行(師長にも参加してもらいたい)。 ・退院阻害要因に「家族の反対」という意見多い。家族会につなげる取り組みや家族教室の企画があっても良いのでは。 ・退院後の生活を病院側にフィードバックできる機会があると良い。 ・退院支援委員会など、院内の内部会議に地域の支援者が参加できると良い。 ・院内連携にアンケートを活かしてもらいたい。 ・退院してのびのび生活している人のロールモデルや事例があると良いか→出張あかね工房 ・地域の支援者やボランティアさんと呼んで、院内でレクや作業療法を行うのはどうか ・あかね工房の他に、協力してもらえる事業所を増やしていきたい 〈アンケートの感想〉 ・在宅後の生活を看護師や病院の支援者が知る機会がないのでは。 ・退院支援委員会に地域支援者が参加できれば、退院に向けた準備の情報提供、病院と地域で初動の役割分担ができるのでは ・退院できない要因トップ②が社会的要因 →病院と一緒にできることの投げかけ。家族教室の開催や家族会の紹介ができるのでは。 ・退院=入院中に築き上げた対人関係が0になることへの不安や刺激の多さ。入院中から地域とつながっている感覚があると安心できるのでは。

2. 生活教室、あかね工房出張講座

〈あかね工房出張講座〉

・日時 7月30日(水)13:30～14:30 開催

・内容 院内での作業体験

・出席者

常盤台病院:未定(できれば看護師にお声掛けをしたい。常盤台相談室から看護師へ依頼をかけてもらえるとよい。)

基幹:橋本氏

センター:佐藤、実習生

3. その他

自立協コラムについて

・掲載したい内容

→アンケートについて

・掲載希望時期

→9月以降

・執筆予定者

→未定(藤井氏から深澤氏へ執筆依頼をかけていただく)

4. 次回内容

ほとほとの会アンケート報告→次年度内容について承認 HPへの返事

出張あかね工房振り返り

次回: 8月19日(火)15:30～

場所: 常盤台病院